第20回 フォーラムエイトデザインフェスティバル

品川で11月17―20日開催

毎年11月に新たなソフトウエアやシステム事例、研究開発を発表してきたフォーラムエイト主催イベント「第20回フォーラムエイトデザインフェスティバル」が11月17―20日の4日間、品川インターシティ（東京都港区港南）H棟1Fホール・ホワイエおよびオンラインで開催される。前夜祭となるEVEは、「メタバニアF8VPS」を活用したメタバース空間で17日に開かれる。



伊藤社長

今年のデザインフェスティバルは、これまで培ってきた設計・解析、3D・VRシミュレーション、自動運転、デジタルツイン、メタバースなどの技術をベースに、「サステナブル」「宇宙インフラ・衛星データ活用」「AI」を大きなテーマとして加え、新構成で開催する。

伊藤裕二社長は「AIを単なる情報検索やチャットのための技術としてだけでなく、設計、解析、シミュレーション、業務支援に活用する実務型AIと位置付け、『F8―AI』の開発・展開を進めている。さらに、デジタルツインにさまざまなデータやシステムを連携する『ForumSync』、メタバース『メタバニアF8VPS』など、長年進化させてきたエンジニアリングソフトウェアやVR・シミュレーション技術をつなぎ、新たなソリューションへと展開する」と話す。

AIとシミュレーション Day2は宇宙インフラ登場

Day1（18日）は「自動運転・サステナブル」をテーマに、モビリティに加え、都市、交通、エネルギー、環境、防災など、持続可能な社会に向けたデジタルツイン、データ連携、AI、シミュレーションの最新技術を取り上げる。道路、交通、都市、防災など地上のインフラ分野で培ってきた技術を、月面インフラやモビリティ、建設・遠隔操作のシミュレーションへ。「spaceF8」の取り組みをはじめ、衛星データ、GNSS、地理空間情報などを活用し、宇宙と地上をつなぐ新たな可能性を提案する。

Day2（19日）では、「宇宙インフラ・衛星データ活用」をテーマに、内外のさまざまなプロジェクトにおけるVR、デジタルツイン、シミュレーションの最新活用事例が観られる。

Day3（20日）は、設計・解析を中心としたエンジニアリングの最新技術を案内。長年にわたり設計実務を支えてきたUC―1シリーズをはじめ、構造設計、FEM解析、さらにF8―AIによる設計・業務支援など、設計から解析、検証までを支える技術の進化を説明する。国際VRシンポジウム、羽倉賞、ナショナル・レジリエンス・デザインアワードなどを通じて、研究、表現技術、防災・国土強靱化まで、幅広い分野の成果や提案を発信する。

EVE（17日）は今年も、メタバニアF8VPSを活用したメタバース空間で開催。リアルとデジタルをつなぎ、場所を越えた交流と新しいコミュニケーションが体験できる。

●期間中に併設展示

ドライブシュミレータをはじめとした最先端のVR連携システムを、ホワイエで展示する。展示内容▽F8 Spatial Link（メタバニアのデジタル空間と3Dホログラムの連携）▽ZEN―MAI（リアルとメタバースをつなぐインタラクティブロボット体験）▽360。宇宙遊泳体験▽PLATEAU（プラトー）ドライブシュミレータ▽公道最速体験シミュレータ▽その他メタバニアF8VPS等技術体験コーナー

【日時】11月17―20日（EVE―17日）

【会場】品川インターシティH棟1Fホール・ホワイエ

【申込・詳細】www.forum8.co.jp/fair/df/2026/



研究開発・活用事例報告

